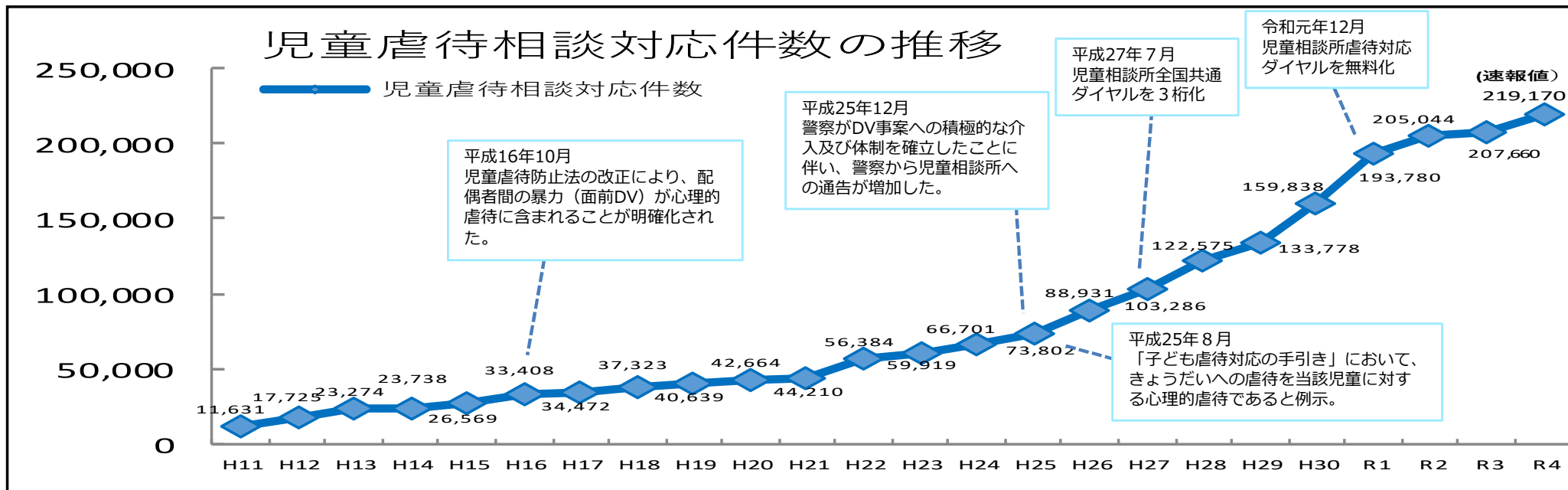


# 児童虐待相談の対応件数推移及び虐待相談の内容・相談経路

- 令和4年度における児童相談所の児童虐待相談対応件数は、219,170件(速報値)。平成11年度に比べて約19倍。
- 心理的虐待の割合が最も多く(59.1%)、次いで身体的虐待の割合が多い(23.6%)。
- 相談経路は、警察等(51.5%)、近隣知人(11%)、学校等(7.3%)、家族(7.2%)からの通告が多くなっている。



○ 虐待相談の内容別割合

	身体的虐待	ネグレクト	性的虐待	心理的虐待	総数
令和4年度(速報値)	51,679(23.6%) (+2,438)	35,556(16.2%) (+4,108)	2,451(1.1%) (+204)	129,484(59.1%) (+4,760)	219,170(100.0%) (+11,510)

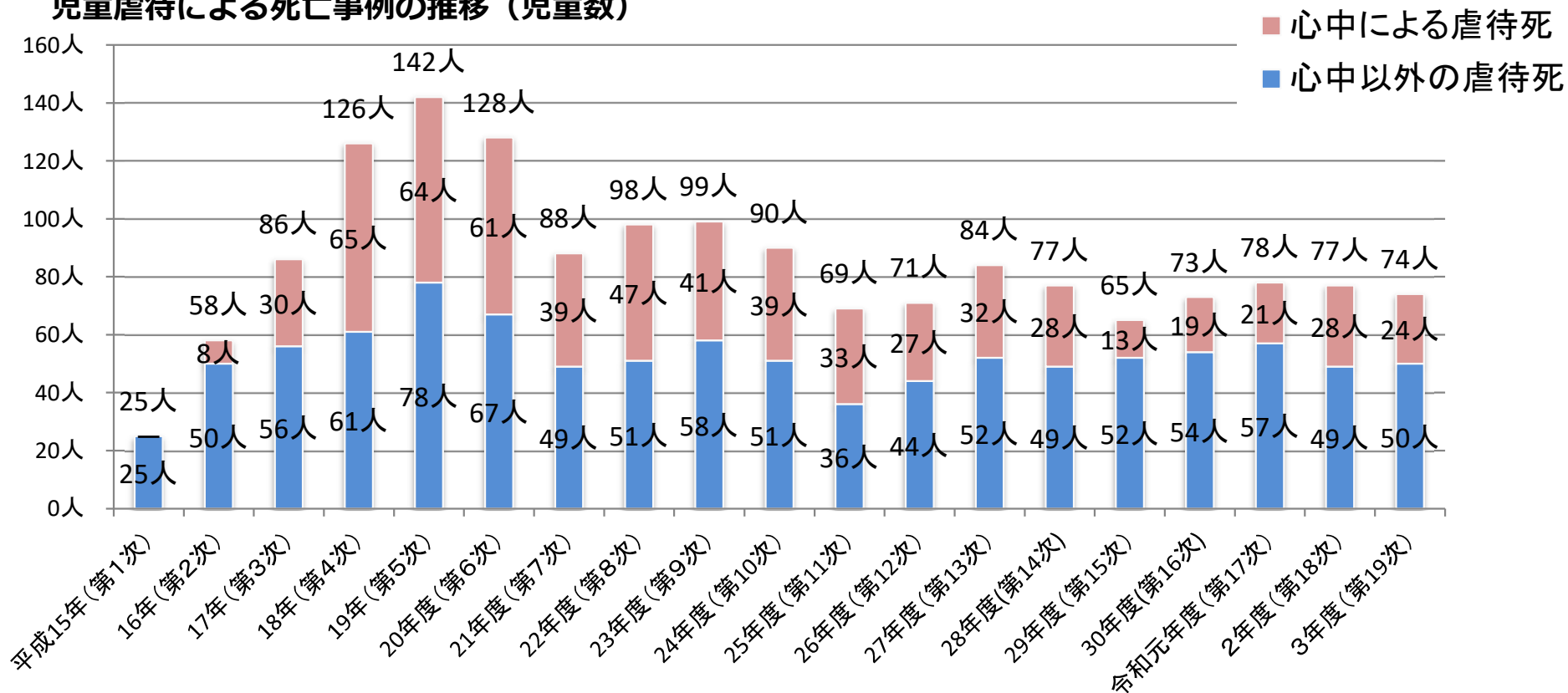
○ 虐待相談の相談経路

	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他	総数
4年度(速報値)	15,800 (7%) (+1,104)	2,636 (1%) (-13)	24,174 (11%) (-3,901)	2,822 (1%) (+293)	10,081 (5%) (+1,010)	155 (0%) (-40)	202 (0%) (-24)	3,986 (2%) (+378)	3,162 (1%) (+316)	112,965 (52%) (+9,861)	16,035 (7%) (+1,091)	27,152 (12%) (+1,435)	219,170 (100%) (+11,510)

# 子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第19次報告)(概要)

子ども家庭審議会児童虐待防止対策部会等 児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会【令和5年9月】

## 児童虐待による死亡事例の推移 (児童数)



(注1)平成15年～平成19年までは暦年。平成20年度以降は年度、(注2)平成15年はH15.7.1～H15.12.31の6か月間、(注3)平成19年はH19.1.1～H20.3.31の15か月間

## 第1次から第19次報告までの児童虐待による死亡事例等の検証結果

【心中以外の虐待死 939例 / 989人】

- **0歳児の割合は48.4%、0日児の割合は17.8%**。さらに、3歳児以下の割合は76.0%を占めている。
- **主たる加害者の割合は、実母が53.9%**と最も多い。
- 妊娠期・周産期における問題では、**予期しない妊娠／計画していない妊娠が27.9%、妊婦健康診査未受診が27.2%**と多かった(第3次報告から第19次報告までの累計)。